

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成30年9月13日 (2018.9.13)

【公開番号】特開2017-35823(P2017-35823A)

【公開日】平成29年2月16日 (2017.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-007

【出願番号】特願2015-158204(P2015-158204)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

D 2 1 H 27/00 (2006.01)

D 2 1 H 19/52 (2006.01)

D 2 1 H 19/38 (2006.01)

D 2 1 H 19/76 (2006.01)

D 0 6 P 5/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 B

D 2 1 H 27/00 Z

D 2 1 H 19/52

D 2 1 H 19/38

D 2 1 H 19/76

D 0 6 P 5/00 1 1 8 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月3日 (2018.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

平板結晶構造を有する無機微粒子としては、例えば、親水性を有する二級クレーやデラミクレーが好適に用いられ、0.4～2.3 μmの範囲、好ましくは0.4～1.4 μmの範囲にメジアン径d₅₀を有し、アスペクト比が5～30、好ましくは8～20の無機微粒子を用いることにより、CMCの連続被膜の形成を妨げずに無機微粒子によるインクバリアー層を形成することができる。メジアン径が0.4 μm未満、アスペクト比が5未満の無機微粒子では、十分なインクバリアー層を形成することができない。メジアン径が2.3 μmを超える無機微粒子では、インク受容層塗料A中での微粒子の沈降が容易に発生し、混合塗料の流送性等のハンドリングが低下し、品質の安定を妨げる。アスペクト比が30を超える無機微粒子では、バリアー性が高くなり過ぎてインク乾燥性を低下させる。